

慶應義塾湘南藤沢高等学校合格 T. Yさん

初めて石井先生にお会いしたとき、私はまだ小学生でした。かれこれ10年近くも前のことになりますが、私は今でもこの出会いに本当に感謝しています。

幼い頃から本を読むことが好きだった私は、周りより少し行間が読めるのを良いことに、恐れ多くもすべてフィーリングで国語の問題に当たってきました。

そんな私が、初めて石井先生に論理的な解き方を教わったのが小学生。そこから中学3年で高校受験を経験し、さらに岡山を離れ、高校から大学1年の今に至るまで、先生とはとても長くお付き合いをさせていただいています。

私が先生にもっともお世話になった中学3年の一年間のお話をさせていただきます。

小学校中学校と国立の附属校に通ってきた私にとって、初めての受験となった高校受験。

第一志望校は神奈川県にある、慶應義塾湘南藤沢高等部でした。

同級生のほとんどが県内の公立高校を目指すなか、私だけ三科目受験。

入試日は二月初旬。試験対策から何から、まわりと同じことをしているわけにはいかなくなりました。

国語、数学、英語。何点が合格圏内なのか。この学校を目指すライバルたちのなかで今自分はどのあたりにいるのか。県外の私立受けるなんて周りに言いたくない。

そもそも受かるのか。落ちたら結局岡山の公立?…受験期はたくさん不安に溢れ、こらえきれず泣いたことも一度でなくありました。

石井先生は、問題を解いて持って行って、たまに質問をしたら教えてくれる、という先生ではありません。なんとなく考えていたらまたま解けた、はあり得ない。

私からこんなことを言うのはおこがましいし、失礼な言い方になってしまふかも知れませんが、石井先生は本当にご自分がたくさん勉強されています。

まず、先生は授業に使うテキストを一から選ぶところから始まり、生徒の進度に合わせ一年間以上の長いスパンで学習の計画を立てられています。

小学生のころ覚えた有名な文学作品の暗唱文が中学で役に立ったり、中学生で習った古文が中学や高校の授業で活かせたりと、後から改めて、先生に教わっていてよかったです。もしかば。

特に俳句や古文などは一度触れているだけで親近感が沸き、楽しくなるのです。

授業中は、問題の解けなかつたところは二度目は自力で解けるよう誘導してくださいます。

問題の解きっぱなしはありえなくて、重視されるのは「直し」。まず、どこに着目したらいいのか。問題文にどの言葉が入っていたらどう答えるのが正しいか。

抜き出しではなく自分で書く問題は適当に書いてはだめで、参考にするべき箇所はどこか…やみくもに問題数をこなすのではなく、洗練された問題をじっくり考え方反芻することでコツをつかみ、徐々に自分で解けるようになります。

毎回出される宿題も、漢字や文章題だけでなく、古文漢文や文法、暗唱など充実しています。もちろん適当に宿題をしてくるとばれます。

そして叱られます。厳しそうに見えるかもしれないし、実際決して甘い先生ではありません。

けれど、とてもあたたかくて優しい先生です。

厳しいのは石井先生が、生徒と生徒の将来のためを思って、真摯に向き合ってくださるからです。

受験の悩みを相談したときは、先生は親身になって話を聞いてくださいます。私も、先生が「結局もう自分ががんばるしかない」という気持ちに持つていてくださったことでなんとか切り替えられました。

そして国語だけでなく数学や英語、長文の志望理由書までみてくださったのです。勉強面でも精神面でも大変な受験生活だったけれど、先生は私のためにとても多くの時間と体力と精神力をつぎ込んでくださいました。

そして家では家族が笑顔とおいしいごはんであたたかく支えてくれました。

まわりの人のサポートなしでは、とてもじゃないけど受験なんて乗り切ることができなかつたと強く思います。

この春私は、慶應義塾大学環境情報学部に進学しました。様々な分野で意識の高い友人たちや先生に刺激を受け、自ら学びたいことを学ぶことのできる環境でとても楽しく充実した大学生活を送っています。

大学では自分でやりたいことを学べる一方、自分自身の将来に関わる何気ないひとつひとつの選択に重みも感じます。

そのなかで今、私は人生で思い切り勉強した経験があつてよかったです。どうして受験勉強をしなくちゃいけないのか、勉強する意味って何なのか、わからなくとも一回くらいは本気で勉強してみてもいいんじゃないかな、と思います。

本気で勉強するなら、本気で付き合ってくださる先生についていくべきだと私は思います。

自分のために叱られることにおじけづいたら負けなのかもしれません。

この場をお借りして改めて石井先生に感謝いたします。ありがとうございました。

今度先生のおうちの猫に会わせてください。